Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism





令和4年9月16日

大規模地震・津波を想定した道の駅防災訓練の実施について

~津波等の大規模災害に備え、地域道路啓開計画における連携を確認します~

災害対策基本法及び防災基本計画(中央防災会議)では、大規模災害時における緊急車両の通行ルートの確保(道路啓開等)を迅速に行うため、協議会の設置等による道路管理者相互の連携の下、あらかじめ道路啓開等の計画を立案することが規定されています。釧路開発建設部では、これまで釧路・根室地域道路啓開計画(案)の策定に当たり、釧根地方道路防災連絡協議会を通じて関係機関と協議を進めていましたが、下記のとおり防災道の駅『厚岸グルメパーク』において、切迫する超巨大地震への対応に向けて関係機関と合同で釧路・根室地域道路啓開計画(案)の検証及び関係機関との連携を確認することを目的とした防災訓練を行います。

記

○実施日時 令和4年9月26日(月) 13:00~16:00

〇実施場所 道の駅「厚岸グルメパーク」 厚岸郡厚岸町住の江2丁目2番地(別紙のとおり)

〇主 催 釧根地方道路防災連絡協議会

○参加機関 道の駅「厚岸グルメパーク」、厚岸町、釧路建設管理部厚岸出張所、厚岸警察署、

釧路東部消防事務組合厚岸消防署、陸上自衛隊第27普通科連隊、北海道電力ネットワーク、

釧路建設業協会、北海道開発局釧路開発建設部

〇訓練内容 1. 防災資機材の稼働訓練

2. 大規模地震・津波発生を想定した図上・情報伝達訓練

3. 道路啓開実働演習(倒壊した電柱撤去・段差解消・ガレキ撤去・被災者の捜索・救助)

○留意事項 取材を希望される際は、9月22日(木)までに下記問合せ先までご連絡下さい。

屋外での見学となりますので、外への備えをお願いいたします。

荒天、突発事象等により中止となる場合がありますのでご了承願います。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスクの着用等の感染拡大防止対策にご協力を

お願いいたします。

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 釧路開発建設部

道路防災推進官 佐藤 泰規 電話 0154-24-7446 (ダイヤルイン) 広 報 官 鈴木 裕介 電話 0154-24-7354 (ダイヤルイン)

釧路開発建設部ホームページ <u>https://www.hkd.mlit.go.jp/ks/</u>



『大規模地震・津波を想定した道の駅防災訓練』実施位置図





1 防災訓練の背景と目的

<背景>

- □千島海溝沿い十勝沖から択捉島沖において今後30年以内に超巨大地震(M8.8程度以上)が起こる確率が7~40%と高く、超巨大地震の発生が切迫
- □令和3年7月には北海道太平洋沿岸の津波浸水想定が新たに公表
- □釧路・根室地域では、迅速な道路啓開を実施する上で必要な事項(啓開するルートや手順等)を定めた「釧路・根室 地域道路啓開計画(初版)」を作成中
- □道の駅厚岸グルメパークは令和3年6月に「防災道の駅」に選定されている

<目 的>

切迫する超巨大地震への対応に向けて関係機関と合同で釧路・根室地域道路啓開計画(案)の検証および関係機関との連携を確認する防災訓練を行うことを目的とする。

<超巨大地震の発生確率>



出典:主な海溝型地震の評価結果(地震発生確率) 政府 地震調査研究推進本部、2019年2月26日公表

< 北海道太平洋沿岸の津波浸水想定> (令和3年7月公表)

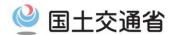


<道内の防災道の駅 選定箇所>



出典: 国土交通省プレスリリース, 令和3年6月11日

本訓練において実施する主な内容(概要)



■主な訓練内容・スケジュール

- (1) 防災資機材の稼働訓練 13:05~13:25(20分)
- 道の駅厚岸グルメパークに設置・配備されている防災資機材について、現地にて稼働訓練を行うことで、防災関係機関との確認・共有を図る。

【主な訓練資機材】

- · 発動発電機
- ・投光器
- ・エアテント

(2) 大規模地震・津波発生を想定した図上・情報伝達訓練 13:30~14:45 (75分)

- 発災時の初動態勢から被災状況把握、関係機関との情報共有、道路啓開態勢の確保・開始までの手順について、『シナリオ型図上・情報伝達訓練』により、各機関の実施行動や流れ等について防災関係機関との認識共有を図る。
- 上記訓練を踏まえ、懸念事項や必要な対応・連携体制等について、各機関との意見交換を行い、道路啓開作業を含む発災時の対応について連携強化・実効性向上を図る。

(3) 道路啓開実働訓練 14:55~16:10 (75分)

• 通行を妨げる占用物の撤去(電柱等)、段差解消、車両等の移動、ガレキ撤去及び被災者の捜索・救助等の道路啓開に係る作業について、『実 働訓練』の実施により、作業時の各種対応について防災関係機関との相互確認・共有を図る。

(1)資機材の稼働訓練の実施イメージ





(2)大規模地震・津波発生を想定した図上・

情報伝達訓練の実施イメージ

(3)道路啓開実働訓練の実施イメージ





